

車ベルのメロディー化は県内では2例目ですが、上下線が異なるメロディー化は県内初めてとなっております。また、4月1日からは町防災行政無線の時報も「汽車」「広野賛歌」「とんぼのめがね」にメロディー化し、童謡のまちに相応しい環境づくりに努めているところであります。

更に、本年10月19日に開催を予定しております「第15回ひろの童謡まつり」の作品募集にあたり、福島県庁を始め福島民報社など各報道機関や関係団体に対し募集要項の説明と併せ、ひろの童謡まつりの広報活動を行いました。

また、地域間交流事業の一環として、去る5月20日・21日の2日間の日程で、北海道小樽市在住の「広野夢大使」鶴田徳満氏並びに小樽市長を表敬訪問し、情報交換等を行って参りました。

## 町民課福祉環境グループ関係事業

平成20年春の全国交通安全運動の一環として、交通安全ふれあいキャンペーンを4月15日シヨツピングプラザアイアイ前において富岡警察署長様をはじめ関係機関のご協力をいただき実施いたし交通安全の意識の高揚をはかりました。

また、5月20日には、平成20年度広野町消防団並びに婦人消防隊の春季検閲式を雨天のため中央体育館において挙行いたしました。

更に、日本化学産業(株)福島工場の規模拡大と生産品目の追加の届け出を受け、5月8日開催の公害対策審議会において生産品目の承認をいただき公害防止協定書を改正し締結いたしましたところであります。

また5月15日には、子育て支援のため対象範囲を拡大いたしました出産祝金支給条例に基づき小

学校並びに中学校入学時における対象者6名に対し、祝金等を支給いたしました。

## 建設課建設グループ関係事業

去る4月18日から19日にかけての豪雨では、270ミリメートルの雨量を記録し多くの公共土木施設、農林業施設が被災いたしました。町民の生活への影響を最小限にするために、緊急を要する箇所については、予備費を充用し応急工事を実施いたしました。また、本復旧工事に要する費用については、今期定例会に一般会計補正予算案として提案いたしておりますのでご理解を賜りますようお願いいたします。

また、長年の懸案事項でありました県道広野・小高線の整備促進及び、当路線の起点部として位置づけられた六号国道との交差点の改良事業について、昨年5月28日に議会議長とともに、関係機関への要望活動を行いました。今年も4月24日に相双建設事務所長に対して同様の内容の要望活動を実施いたしました。これらの要望活動が認められ本年度は、本路線の整備事業が一段と推進され、桜田交差点改良事業計画も確実に前進するものと確信しております。これを契機に本町東部の幹線道路網の整備について、更に努力して参りますのでご理解とご協力をお願いいたします。

また、6月8日恒例のクリーンアップ作戦を実施いたしました。多くの町民や各種団体の方々が参加され、河川、海岸、溜池等の清掃作業をしていただきました。これからもきれいな町づくりに努めて参りますので、ご協力をお願いいたします。

## 建設課産業グループ関係事業

去る5月3日に、二ツ沼総合公園直売所の周年記念感謝祭が開催され、当日は200名の来場者で賑わいました。直売所組合員が広野町の新鮮な路地野菜、山菜を中心に販売し、福島県グリーン福島運動推進協議会相双地域協議会の共催により、広野町消費生活友の会の会員が、エコパックの利用を呼びかけました。

また、日本化学産業株式会社福島工場から、コバルト合金を使ったバッテリー式電池材料の生産を図るため、平成21年4月の稼働開始に向け同敷地内に生産工場を増設する計画の報告がありました。

## 教育委員会関係事業

サッカーによる国際人育成支援事業のアカデミー福島三期生15名の入校式が4月6日(日)Jヴィレッジで行われ、併せて地域をあげて生徒をサポートするため広野町サッカー支援センターにおいて、三期生の歓迎会を広野町のサポートファミリー及び生徒とその保護者並びに関係者等115名の出席をいただき開催いたしました。

また、公民館事業といたしまして、4月19日にスポーツ少年団員151名の入団式を実施するとともに、4月21日には、各種学級教室合同開講式を開催いたしました。今年度の生徒数は170名となりました。

更に、5月11日には、第4回東京電力広野火力パークゴルフ大会を119名の参加を得て開催しております。また、5月24日には歩け歩け五社山登山を67名の参加を得て開催いたしました。

# 第2回 広野町議会定例会

## 町長一般経過報告

6月10日、11日開催の第2回広野町議会定例会において  
町長より、第1回以降の町政経過報告が行われました。

本日ここに、平成20年第2回広野町議会定例会を召集申し上げましたところ、議員の皆様には何かとお忙しい中、ご参会を賜り、平成20年度一般会計補正予算案ほか三特別会計補正予算案及び当面する重要案件について、ご審議賜りますことに対して、心から感謝申し上げます。

また、広野町議会議長坂本紀一様には去る5月12日、福島県町村議会議長会会長に就任されましたことは誠にめでたく、わが町にとりまして誇りとするとところであります。

都市と地方の格差拡大や、減少する財源の確保など地方を取り巻く環境は一層厳しさを増してきており、このような時、県町村議会議長会会長としてご活躍されますことは、広野町と致しましても誠に心強く心よりご期待を申し上げます。

それでは本定例会に提出いたしました議案をご審議いただくに当たり、本年第1回定例会以降における町政の経過をご報告申し上げます、議会並びに町民の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

はじめに、広野火力発電所6号機の増設につきましては、再三に亘り先送りされてまいりましたが、この度、東京電力株式会社より

平成20年度着工、平成25年度運転開始の方針が示されましたことは、広野町の財政運営はもとより商工会をはじめ町の活性化にとりましても大変喜ばしいことであり、これもひとえに町議会の皆様の建設促進に対する積極的な要望活動の賜と衷心より敬意と感謝を申し上げます。

また、福島県では、災害時において地域が相互に助け合う関係の強化を図るため、平成18年3月に策定されました福島県総合安全管理基本方針に基つき「うつくしま地域間交流ネットワーク」を設立し、県内市町村と首都圏との地域間交流を促進しております。本町においても、ネットワーク会議に参加するなど首都圏自治体との意見交換や地域間交流に関する情報の収集・提供をして参りました。

今般、福島県より埼玉県三郷市との地域間交流の照会があり、去る5月8日に三郷市を訪問し、三郷市長と両市町間におけるの災害時における相互応援協定の締結に向けた調整・協議を行って参りました。

三郷市は常磐自動車道広野ICから時間的な距離は近いものの、ある程度離れておりますので同時被災の可能性が小さいことから、大規模な災害において相互に連携しながら協力・応援体制を整え、町民の安全・安心の確保を図るとともに、今

後、協定の締結を契機として、両市町の絆を更に発展させるため、各種交流事業を通じ相互の友好関係を構築していきたいと考えております。

### 総務課企画グループ関係事業

「サッカー国際人育成プログラム支援施設整備事業」につきましては、昨年6月より整備をして参りましたサッカー雨天練習場が3月下旬に完成し、4月からJFAアカデミー福島が使用を開始しております。

また、施設整備計画の最終年度となる今年度につきましては、一期生が来年度に高校生となるため本年度末の完成を目指し、去る6月2日に第二期工事として「広野町サッカー支援センター増築工事」の条件付一般競争入札を行ったところであり、田中・西武特定建設工事共同企業体が落札され過日工事請負契約を締結いたしました。今期定例会に工事請負契約案件を上程いたしましたので、ご理解を賜りますようお願いいたします。

次に「第6回二ツ沼ふれあいフェスタ」については、5月3日が雨天のため翌4日に開催し、地元農産物を食材とした食品や花卉などを販売いたしました。また、東京電力広野火力発電所、商工会、パークゴルフ協会等の協力をいただき、大盛況のうちに終了することができました。今後も春の一大イベントとして定着させていきたいと考えております。

また、「童謡のふるさとひろの」のイメージアツプを図るため、JR水戸支社のご協力により、広野駅の発車ベルを「とんぼのめがね」と「汽車」にメロディー化し、去る3月17日に関係者のご臨席をいただき、記念式典を挙行いたしました。発